事例No.	2019
公表年度	R4
団体の属性	指定都市
団体名	神奈川県横浜市

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

未来の家プロジェクトＩｏＴスマートホーム実証実験

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

39 未来の家プロジェクト IoTスマートホーム実証実験【神奈川県横浜市】

事業の概要

○　横浜市は、横浜経済の強みである「ものづくり・IT産業の集積」を活かし、IoTなどの先端技術を活用したビジネス創出に向けたオープンイノベーションプラットフォーム「Ｉ ▫ ＴｏＰ横浜」で実証実験支援を行っている。

○　株式会社NTTドコモ、and factory株式会社、横浜市は、快適な暮らしをサポートし、将来の社会課題への対応を目指す取組である「未来の家プロジェクト」を平成29年６月に立ち上げた。

○　令和４年３月までに横浜市内で計６回の実証実験を実施し、20社・団体が本プロジェクトに参画して実証実験を行った。



【参考情報】 人口：377.6万人
関連URL：https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/keizai/2021/1008mirainoie.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。



（横浜市）

将来増加が予想される高齢者の一人暮らしや災害時の対応は今後重要な社会課題になると考えられます。これらの課題への対応と、さらには住空間においてIoTを活用して集積したデータをフィードバックし、快適で健康な暮らしをサポートする取組として、（株）NTTドコモ様とand factroy（株）様からご提案いただき、このプロジェクトは始まりました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



国や都道府県の支援制度は活用していません。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



事業者間の交流を促すことで、IoTなど先端技術を活用した生産性の向上や社会課題解決の貢献、ビジネスモデルの創出につながります。事業者のアイデアや意見にじっくり耳を傾けながら時間をかけて調整を行うことが必要ではないかと考えます。

★担当：横浜市経済局 産業連携推進課★

令和3年度事業費　0千円